

## 12 期地域貢献活動アンケート調査

### 部会長コメント

長期のコロナ禍でも地道に続ける卒業生の地域活動 ブラボー

この調査は、レイカディア大学と協働して学生の支援を行うサポートの会の地域活動部会が、草津キャンパスの卒業生に対し卒業後の3年間アンケート調査を実施しているもので、今期が8回目となります。

調査の目的は、地域で活動している卒業生の地域貢献活動実態把握と存在意義を明らかにするために実施しています。今回もコロナ禍の影響により、卒業生の地域貢献活動時間は縮小を余儀なくされましたが、活動者人数は大きな落ち込みもなく、卒業生により根強い地域活動が継続されている実態を確認できました。

今期の対象者は325名、活動報告者は228名、前期比21名減で92%でした。年間活動時間の合計は24,878時間で前期比87%でした。1人当たりの年間活動時間は109時間で前期比95%とほぼ同水準を維持し、地域貢献活動への意欲の高さを示しています。

なお、詳細はサポートの会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。(文字数 421)

地域活動部会 部会長

大國 順之 (41期地域文化学科)